

記載例

「川崎市長」と
すること

届 出 書

届出日当日の日付
(川崎市が受理した日)

〇〇年〇〇月〇〇日

川崎

市長 殿

フリガナ

発注者又は自主施工者の氏名(法人にあつては商号又は名称及び代表者の氏名)

(郵便番号〇〇〇-××××)電話番号044-〇〇〇-〇〇〇〇

住所 神奈川県川崎市〇〇区△△-△-△

(転居予定先) (郵便番号〇〇〇-××××)電話番号045-〇〇〇-〇〇〇〇

住所 神奈川県横浜市××-×-×

発注者名=施主(所
有者等)名。委任を
受けた者の氏名で
はない。振り仮名を
つける。個人の場合は、本人の
住所(転居する場合は
転居先を併記)、法人
の場合は主たる営業
所の所在地とする。

建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第10条第1項の規定により、下記のとおり届け出ます

記

1. 工事の概要

- ① 工事の名称 〇〇住宅解体工事
- ② 工事の場所 川崎市〇〇区△△丁目△番△
- ③ 工事の種類及び規模

町名、大字・字名、
丁名、地番に至る
まで記載すること。該
当
の
口
に
チ
ェ
ッ
ク

- ✓ 建築物に係る解体工事 用途 専用住宅、階数 2、工事対象床面積の合計 100 m²
- 建築物に係る新築又は増築の工事 用途、階数、工事対象床面積の合計 m²
- 建築物に係る新築工事等であつて新築又は増築の工事に該当しないもの
- 用途、階数、請負代金 万
- 建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等 請負代金 万
- ④ 請負・自主施工の別 ✓ 請負 □ 自主施工

法人の場合代表権のある方。契
約権限が支社長などに委任され
ていれば支社長などでもよい。

該当の口にチェックマークをすること。

2. 元請業者(請負契約によらないで自ら施工する場合は記載不要)

振り仮名をつける。

- フリガナ
- ① 氏名(法人にあつては商号又は名称及び代表者の氏名) マル バツ カイタイ (株)〇×解体 (代) 解体 次郎
- (郵便番号〇〇〇-××××)電話番号 044-〇〇〇-〇〇〇〇
- ② 住所 神奈川県川崎市幸区〇〇-△△
- ③ 許可番号(登録番号)
- 建設業の場合

現場事務所を設置する場合は、その住所、
郵便番号、電話番号を併記する。

建設業許可 □ 大臣 □ 知事(一) 号(工事業)

主任技術者(監理技術者)氏名

✓ 解体工事業の場合

解体工事業登録 神奈川県 〇×△□ 号

技術管理者氏名 神奈川 一郎

建設業の場合は、許可業種(土木工
事業、建築工事業)の別、大臣又は
知事の許可の別、建設許可番号、主
任技術者(監理技術者)の氏名を記入。
解体工事業の場合は、神奈川県で
登録をした解体工事業の登録番号、
技術管理者氏名を記入。3. 対象建設工事の元請業者から法第12条第1項の規定による説明を受けた年月日
(請負契約によらないで自ら施工する場合は記載不要)

令和〇〇年〇〇月〇〇日

元請業者から、分別解体等の計画の内
容(法第10条1項に掲げる事項等)につい
て、説明を受けた日を記入。

4. 分別解体等の計画等

- 建築物に係る解体工事については別表1
- 建築物に係る新築工事等については別表2
- 建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等については別表3
により記載すること。

届出提出日から7日経過日以降
の日付であること。

5. 工程の概要

別紙のとおり

(工事着手予定日) 令和△△年△△月△△日

(工事完了予定日) 令和××年××月××日

(できるだけ図面、表等を利用することとし、記載することができないときは、「別紙のとおり」と記載し、別紙を添付すること。)

(注意)

- 1 □ 欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。
- 2 届出書には、対象建設工事に係る建築物等の設計図又は現状を示す明瞭な写真を添付すること。

※受付番号